

単元名：

院政から武家の政権へ

(全8時間扱い中 第6時)

授業日時 令和3年11月5日(金)第2校時

授業学級 1年B組

授業会場 1年B組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

平清盛が武士なのになぜ太政大臣なることができたのか理解できる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：平清盛が貴族ではないのに最高権力者になれた理由を考える。
- ・活動：当時の政治の様子や平清盛が行ったこと着目して調べる。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 資料を読み取り、気が付いたことや疑問から学習問題を設定する。	○「歴代の太政大臣を出す。」 ○PPを使ったスライドで考えさせる ◇資料から、気づいたこと、疑問に思ったことを問い、学習問題を設定する。	5
	【学習問題】平清盛は武士なのになぜ太政大臣になれたのか。		
	2. 学習問題に対する予想を立て、追究の見通しをもつ。	○「学習問題に対する予想を書きましょう」 ◇予想と予想を確かめる方法を確認し、学習問題を据える。	10
	【学習課題】当時の政治の様子や平清盛が行ったことに着目して調べよう		
展開	3. 予想に基づいて資料を読む。	○「資料から読み取れたことを学習カードに記入しましょう」 ◇一つ一つの資料の読み取りで終わっている生徒には関連している内容を矢印で結び、複数の資料を関連付けて読み取るように助言する。	15
	4. 資料を読み取りわかったことを発表する。	○「資料からどんなことが分かりましたか。」 ◇発表された意見を矢印や線でつなぎ、事象の関連がとらえやすいように構造的に板書する。 【評価】平清盛がどのように太政大臣になったのか理解している。(観察・ワークシート)	10
終末	5. 本時の学習を振り返る	○「学習問題に対する答えを学習カードのまとめの欄に」記入しましょう。	10

資料1 平清盛の年表

この人この時代
① 平清盛の3つの姿

武士団の棟梁
8年後
朝廷の最高位者
1年後
出家した姿

年	できごと
1118	生まれる
1156	保元の乱で後白河天皇方につく
1159	平治の乱で源義朝を破る
1167	太政大臣となる → 武士として初、朝廷の最高位に
1168	出家する
1172	娘が高倉天皇のきさきとなる
1179	後白河上皇の院政を停止する
1180	孫の安徳天皇が即位する

数字は天皇の即位順

```

    77 後白河 — 以仁王
    80 高倉 — 82 後鳥羽
    (平) 滋子 — 81 安徳
    (平) 時信 — 時忠 — 時子 — 徳子
    (平) 正盛 — 忠盛 — 清盛 — 重盛
  
```

平清盛は、朝廷の正二位の位を得て公卿となつた最初の武士でもある。

資料2 保元・平治の乱

2A 保元の乱と平治の乱 の浄土と考えられていた。

保元の乱

1156(保元)年 院政の実権をめぐる争い → 武士が勝敗を決定づける

勝者 後白河天皇(弟) 平清盛(おい) 源義朝(子)

敗者 崇徳上皇(兄) 平忠正(おじ) 源為義(父)

平治の乱

1159(平治)年 武士の代表をめぐる争い

勝者 平清盛

敗者 源義朝

1156年、鳥羽上皇が亡くなって保元の乱がおこってから、日本は「武者の世」になった。(恵円「愚管抄」)

院政…天皇の地位を退いた上皇が引き続き政治の実権を握ること。天皇には実権がない

資料4 平氏の繁栄

資料3 平氏の知行国

● 平氏の知行国(1179年後の32国)

知行国…朝廷から支配を認められた国

② 平氏の栄華

平清盛の像

六波羅殿の一族といえば、高い家柄の貴族でも、面と向かい合い肩をならべる人もない。そこで清盛公の妻の兄、平大納言時忠卿が「この一門でない人は、みな人ではない」といわれた。そういうわけで、どんな人でも何とかくふうして平家と縁故を結ぼうとした。着物の着方、烏帽子のまげ方をはじめ、何事も六波羅様といったので、世の中の人々はみなこれをまねた。

清盛公ひとりが栄華をきわめただけでなく、一門ともに繁昌して、……一門の公卿16人、殿上人30余人、諸国の受領・衛府・諸司など合計60余人である。世の中には平家以外には人がいないように思われた。

日本全国はわずかに66か国、平家知行の国が30余か国。すでに半分をこえている。(『平家物語』)

資料5 日宋貿易

日宋貿易

平清盛は、瀬戸内海に新しい航路を開いたり、現在の神戸港にあたる大輪田泊をつくりおして、宋(南宋)の商船を畿内まで来航させて貿易を行った。

<輸入品>

- 宋銭・高級絹織物・香料 など

<輸出品>

- 砂金・真珠・木材など

輸入品の中でも、宋銭は鑄造技術の低い当時の日本にとって特に貴重なものだった。これにより、社会での貨幣流通が大きく広がった。また輸出品では、砂金や真珠が珍重されて、平氏政権の重要な経済基盤となった。

宋銭